

Contexture No.40刊行に寄せて

基礎教育センター工学部会主任 小川 毅

情報化社会の加速度的な進展やコロナ禍による社会生活の変化が学生に降りかかっている。さらに、少子高齢化の社会構造の歪みによる生産性の停滞やウクライナ紛争等の社会不安は、こうした変化に拍車をかけている。このような社会情勢の中で、学生自身の価値観や将来の社会貢献像、夢や目標に対する自己実現等が揺らいでおり、様々な葛藤があるように感じられる。

本学は教育理念として「テクノロジーとヒューマンリティの融合と調和」を掲げ、正しい道德観・倫理観・宗教観を持つことで感性および精神力やコミュニケーション能力を磨くことを重視している。学生一人ひとりがこれを実現し自分自身の人生を彩れる将来設計を見つけるためには、「基礎教育」を基盤として「専門教育」へと発展・応用させる学修が不可欠である。

本紀要（Contexture）には、大学教育の基盤となる「基礎教育」の視点からの論考6篇が寄せられた。これらの論考を通じ、執筆者それぞれの学生観や教育観の「見方・考え方」を受け止めることができる。いずれも普遍のおよび今日的な視点で論述された興味・関心を惹かれるものであり、今後の本学教育の礎となるものであると確信する。

今号は創刊40号の節目にあたる。これを記念して、創刊号以来の論文・記事を電子化し、本学の公開リポジトリである「埼玉工業大学学術研究成果コレクション」(<https://sit.repo.nii.ac.jp/>)にてオンライン公開することとした。電子的な公開を承諾してくださった執筆者の皆さまにこの場を借りて改めてお礼を申し上げたい。今号に掲載された6篇とあわせ、本学に関係する立場の皆様方に一読いただき、感想等を承りたい次第である。